



新しい年を迎えて

はしもと まさひこ
高山市議会議長 橋本 正彦

新年明けましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年、台風19号により甚大な被害が全国各地で発生し、改めて予測のつかない自然災害への日頃からの備えの大切さを痛感したところでもあります。幸い市内では台風や豪雨、地震など自然災害による大きな被害もなく穏やかな年でありましたが、今年も平穏な年であってほしいと願うものであります。

昨年4月に市議会議員選挙が行われ、時代は平成から令和に移り変わるなか、市議会もメンバーが一新されました。ラグビーワールドカップで日本代表が「ONE TEAM(ワンチーム)」をスローガンに、選手たちが心を一つに固い結束により快進撃を続けたように、我々も一丸となって皆様の負託に応えられるよう誰もが住みよさを実感し、元氣な安全で安心して暮らすことができるまちづくりに取り組んでまいりますので、何卒よろしくお願いたします。

さて、今年2020年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。多くの感動的なシーンに出会えることを今から心待ちにしております。この一大イベントを機会として海外から多くの観光客が高山へもおみえになることが予想されます。オリンピック景気といわれるような地域経済の活性化にも大いに期待をしているところです。

市におきましては第八次総合計画の後期計画スタートの年を迎えます。人口減少や少子高齢化が急速に進展す

るなか、労働力や担い手の不足による地域産業・地域経済の衰退、伝統文化の継承や地域コミュニティの低下など市民生活に及ぼす影響が危惧されており、その対応が喫緊の課題であります。これまで以上に協働のまちづくりの取り組みが重要になってまいります。また、住み慣れた地域で支え合いながら市民一人ひとりが安心して暮らしつづけられるよう中長期的な視点に立った持続可能なまちづくりが必要不可欠であります。

議会といたしましても、二元代表制の一翼を担う議事機関として、また、まちづくりの責任ある意思決定機関としてその責務を果たし、市民福祉の向上を図るため、市民の皆様の声に耳を傾け、意見を市政に反映するよう、調査研究や討議をはじめ議会機能を十分に発揮し、全力で取り組んでまいります。

また、市民に開かれたわかりやすい議会を目指し、大幅にリニューアルした「ぎかいだより」の発行、本会議における議員の一般質問や委員会での議案審査などのテレビ中継、フェイスブックやホームページなどSNSを活用した議会活動の情報発信とともに、地域別・分野別・高校生など広く市民の皆様の声をお聞きする機会の創出にも積極的に取り組んでいくところではありますが、引き続き広報広聴活動の充実に努めてまいります。

今後とも、市民の皆様の格別のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、迎えた新年が、市民の皆様にとつて健やかで幸せに満ちた一年となりますことを心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。